

## 千葉の会 HP原稿「ケア帽子」コーナー

### 「ケア帽子」とは？

抗がん剤治療での副作用の一つに脱毛があり、治療前の説明で脱毛の話が出ると悲しい表情になる方もおられます。事前に覚悟ができていても、いざその時になるとショックは大きいようです。でも治療が終わり、しばらくすると必ず元の美しいヘアスタイルを取り戻せます。私たちは、それまでの間、使用していただけるようなケア帽子を作って患者の方にお贈りしています。

ケア帽子は普通のタオルを素材としており、辛い治療にも前向きに闘える気持ちになれるよう、カラフルな明るい色のものなどを作っています。この帽子を使って、お子様は闘病中でも元気な表情を見せてくれる場合もあります。また、帽子一つで怪我予防にもなります。私たちは、毎年クリスマスプレゼントとして病院に贈らせていただいていると同時に、希望される個人の方にも作っています。

さらに、ケア帽子を作りたい方には講習等も行っています。ケア帽子作製には日本赤十字奉仕団の方々や個人の皆様のお手伝いをいただいています。無地のタオルのアップリケはホトリボンアートの会の皆様からの支援をいただいています。素材のタオルは(株)日東タオル様、ライオンズ様、個人の皆様からの提供をいただいています。

昨年、以下の病院に合計500個のケア帽子を贈りました。

東京大学医科学研究所 血液内科  
聖路加国際病院 小児科  
国立成育医療研究センター  
千葉大学医学部附属病院 血液内科、小児科  
千葉市立青葉病院 血液内科  
旭中央病院  
帝京大学千葉医療センター  
君津中央病院  
千葉県こども病院

今年は白い薄手のタオルで100個のマスクを作り、市原市社会福祉協議会に贈りました。

タオルの御支援、問い合わせ等は 0436-61-3688 ケア帽子担当 西島まで

